

MS341-26004 GRフロントスポイラー [LED付き]

取扱要領書

この度は GR フロントスポイラーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書には本商品の取り付け・取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け・取り扱いを実施してください。

- 本商品は未登録車への取り付けは出来ません。取り付けは必ず車両登録後に行ってください。
- 本商品を装着後に牽引フックを使用する際は、本商品を取り外す必要があります。

■品番・適合車種

品番	適合車種	年式	備考
MS341-26004	ハイエース	25.2 ~	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

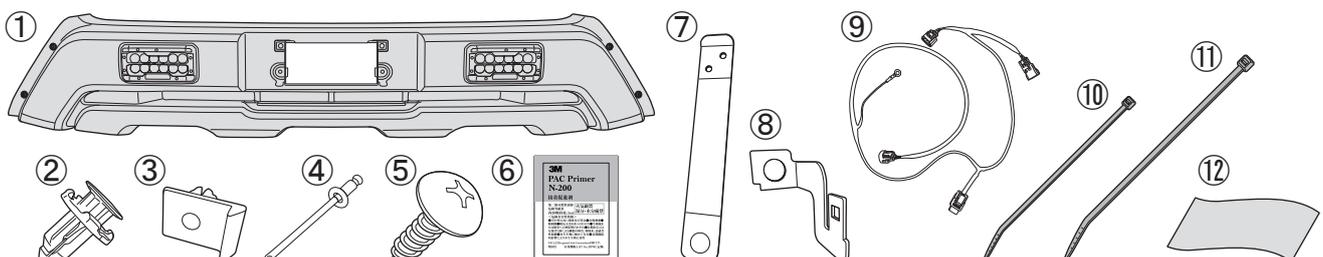
■構成部品

No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	LED 付き
②	クリップ	2	
③	グロメット	2	
④	リベット	4	
⑤	タッピングスクリュー	2	M6 × 16
⑥	PAC プライマー (赤袋)	1	N-200 相当 ※1
⑦	ブラケット A	2	黒
⑧	ブラケット B	1	
⑨	接続ハーネス (車両側)	1	
⑩	結束バンド A	6	160 mm
⑪	結束バンド B	1	200 mm
⑫	シートパッキン	2	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

※1. フロントバンパーが素地の場合は、別途「3M PAC プライマー K-500」を準備してください。

■構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品の取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。純正部品を再使用する場合がありますので、復元する際に間違えないよう配慮し、紛失しないように保管してください。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または「（株）タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
- ❗ 両面テープの圧着は49 N（5 kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

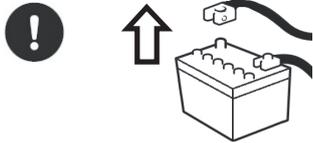
- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。また、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

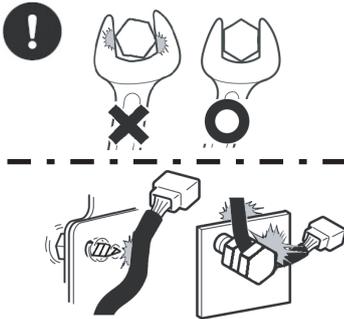
LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



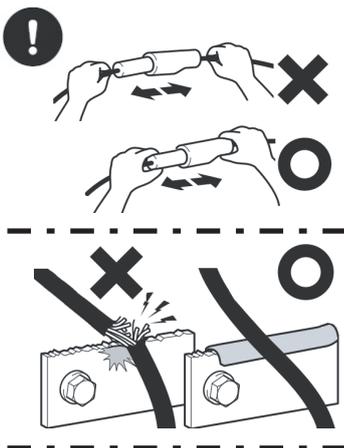
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



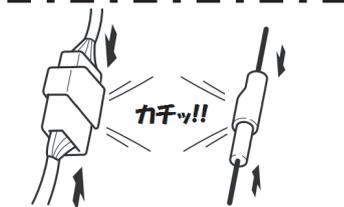
部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

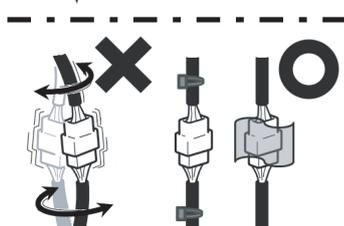


配線の取りまわしは

- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品 1
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 2～3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、構成部品図 4
4. 取り付け要領 5～15
5. 取り付け完了後の点検・注意事項 15

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・ドリル・ホルソー・きり・加工用工具（はさみ、カッターナイフなど）・やすり・リベッター
- ・ スケール・マーカーペン・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・ビニールテープ
- ・ マスキングテープ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト< <https://www.trdparts.jp/> >

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図／配線図

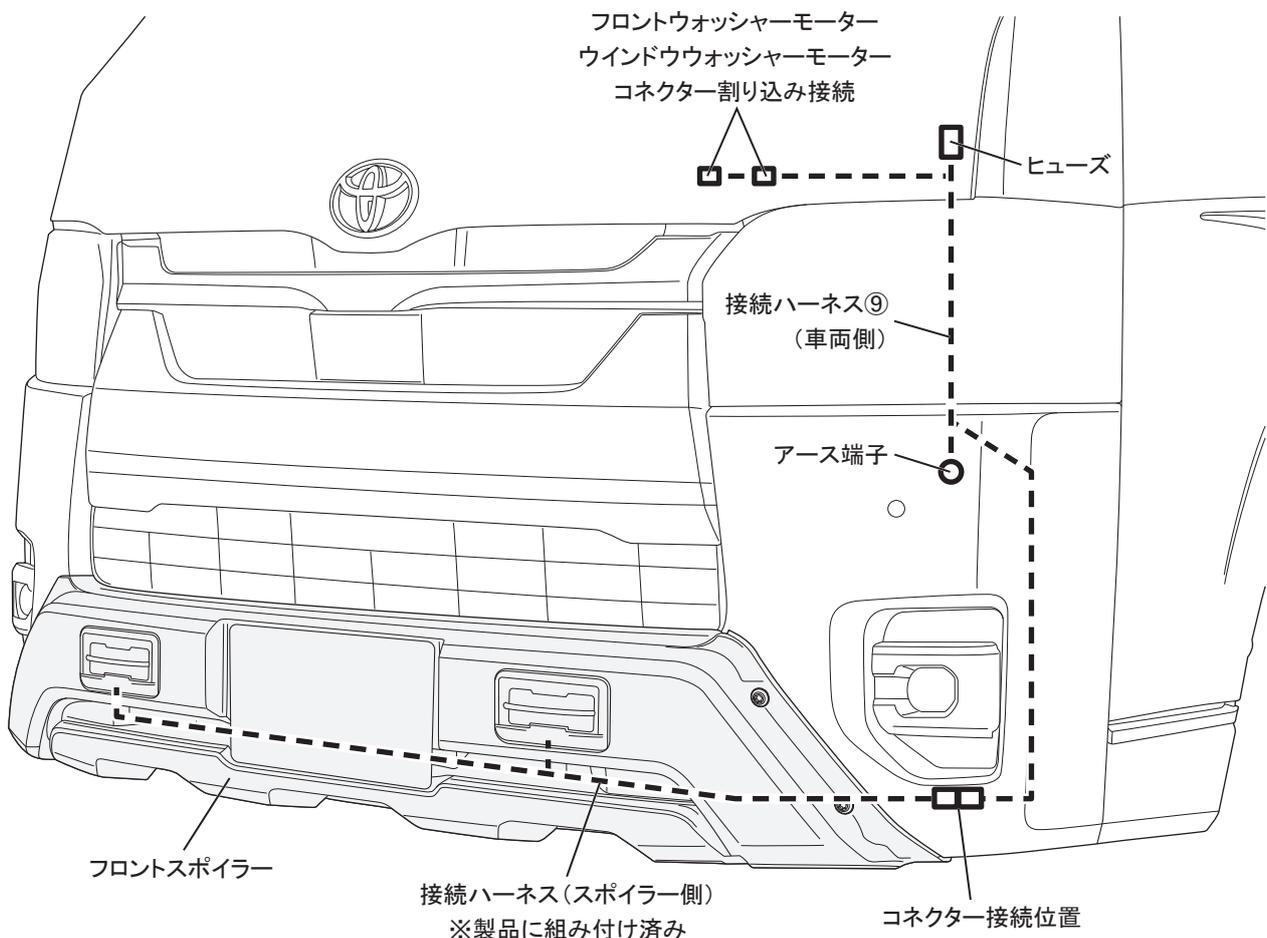
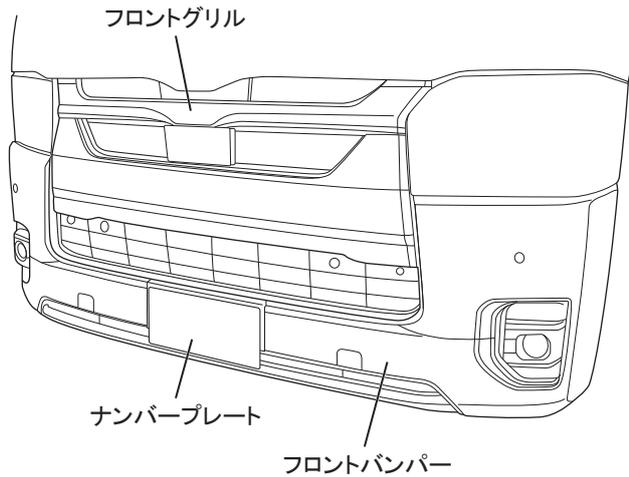


図 1



- 取り付け作業は必ずバッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。
- 作業終了後は各システムの設定・動作確認を必ず行ってください。
- 車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定／作業」を参照してください。

□ 接続ハーネスの取り付け

1. 車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、「フロントグリル」「ナンバープレート」「フロントバンパー」を取り外す。

△注意：取り外した部品は復元するため、大切に保管してください。

■ 取り付け作業の選択

本商品を取り付ける際、同時装着される製品により作業を選択する必要があります。

下記の表をご確認いただき適切な取り付け作業を選択してください。

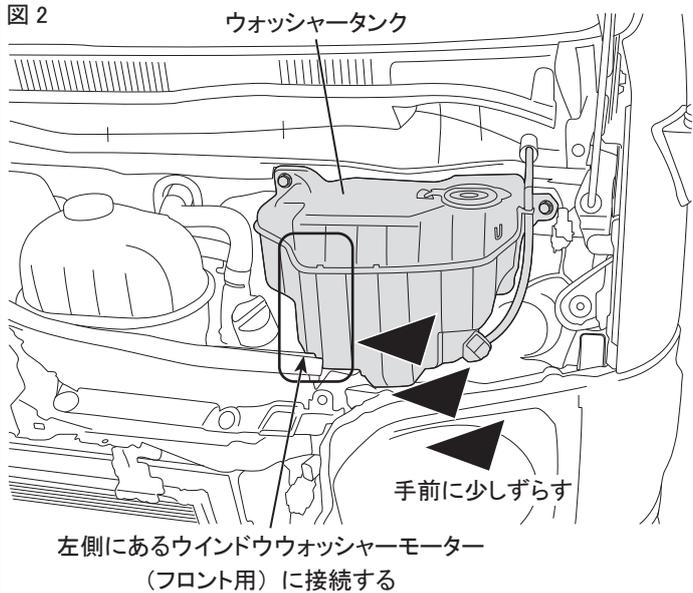
選択1 「シグネチャーイルミブレード」が装着されていない場合

- ・すべての構成部品を使用します。
- ・取り付け作業はこのまま下の図2「2. 車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い…」から行います。

選択2 「シグネチャーイルミブレード」が装着されている場合

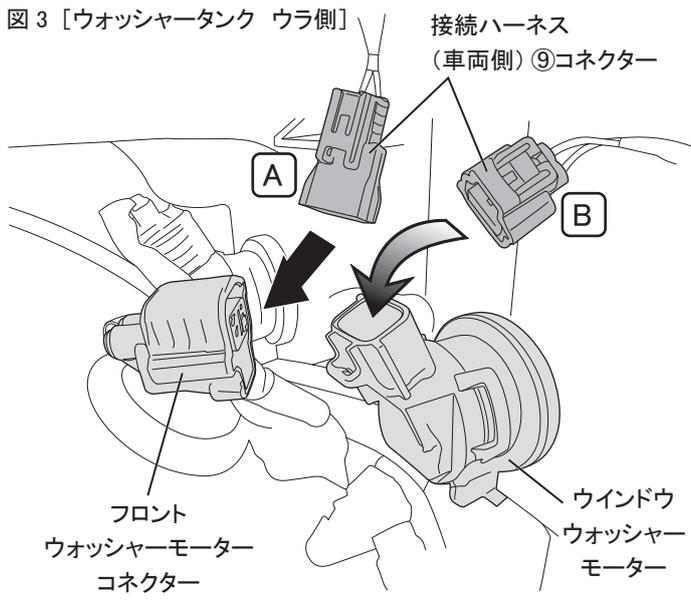
- ・結束バンド A ⑩× 5 本、結束バンド B ⑪× 1 本、シートパッキン⑫× 1 枚は使用しません。
- ・ブラケット B ⑧× 1 個、接続ハーネス（車両側）⑨× 1 本も使用せず、シグネチャーイルミブレードの構成部品を使用します。
- ・取り付け作業は 8 ページ目の図 10「1. バッテリーのマイナス端子を接続します」から行います。

図 2

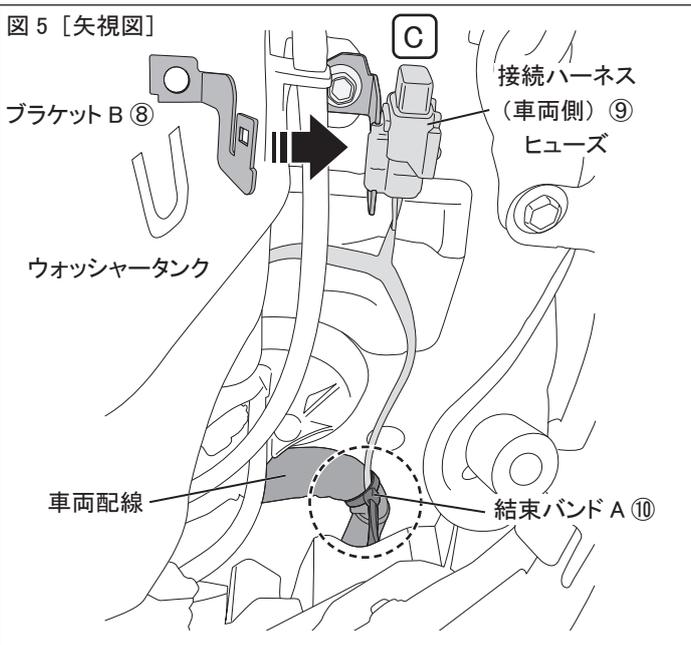
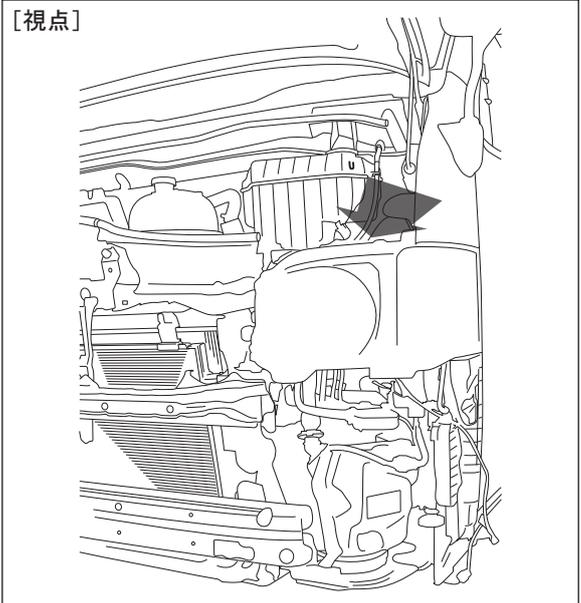
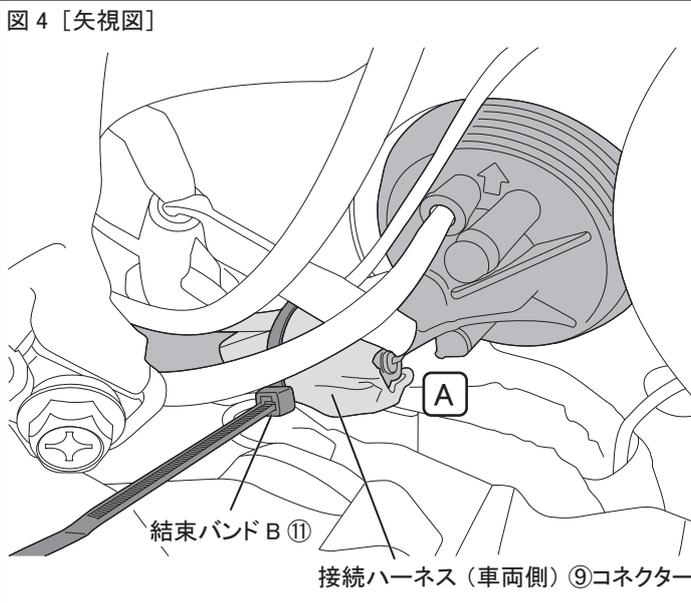
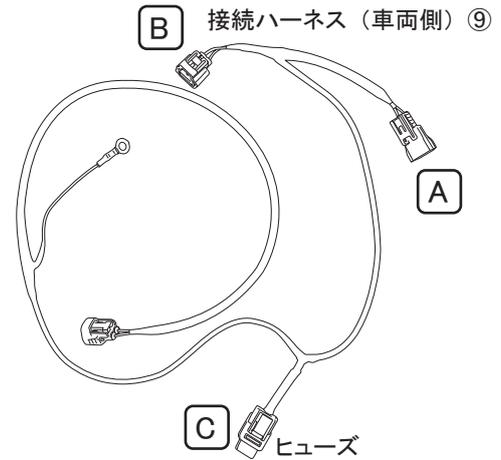


2. 車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、ウォッシャータンク取り付けボルトを外し、ウォッシャータンク裏側のクリアランスを確保するため手前に少しずらす。

△注意：ウォッシャー液が出ないように注意してください。



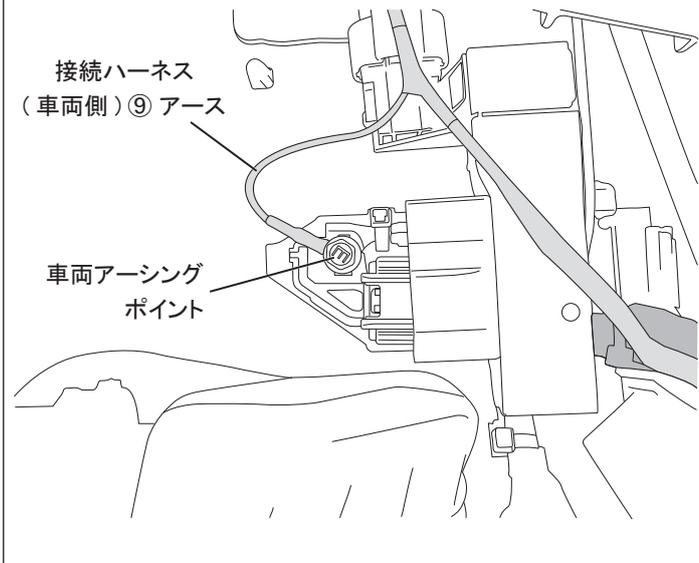
3. フロントウォッシャーモーターのコネクタを外し、接続ハーネス (車両側) ⑨ A / B を割り込ませる。



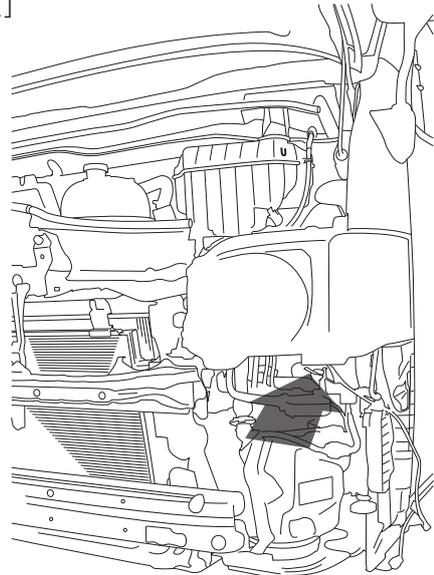
△注意：配線の取り扱いは十分に注意してください。

4. 割り込ませた接続ハーネス (車両側) ⑨コネクタ A にシートパッキン⑫を巻き付ける。
5. ウォッシャータンクのウラ側にある車両配線に、結束バンド B ⑪で接続ハーネス (車両側) ⑨とコネクタ A を束ねて固定し、結束バンド B ⑪の余りをニッパーなどで切り取る (1箇所)。
6. ブラケット B ⑧を図の位置に配置し、車両ボルトで取り付ける。
7. 接続ハーネス (車両側) ⑨のヒューズ C をブラケット B ⑧に差し込み固定する。
8. 図の破線部を車両配線と結束バンド A ⑩で束ねて固定し、結束バンド A ⑩の余りをニッパーなどで切り取る (1箇所)。

図 6 [矢視図]



[視点]

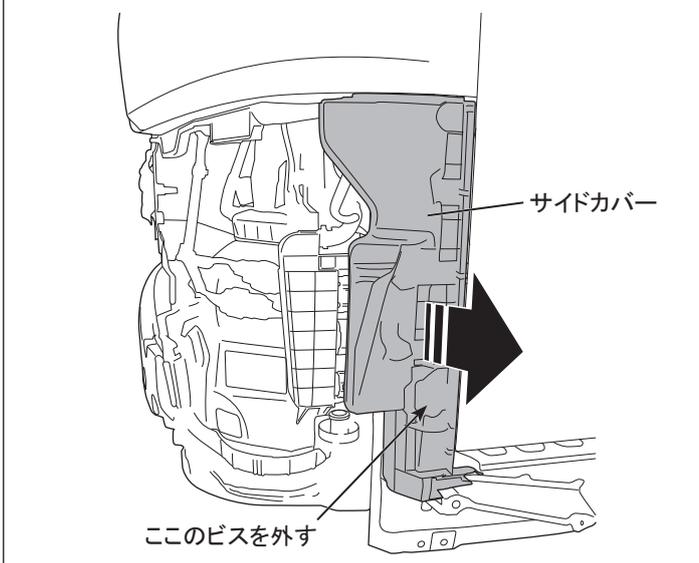


⚠注意：配線の取り扱いには十分に注意してください。

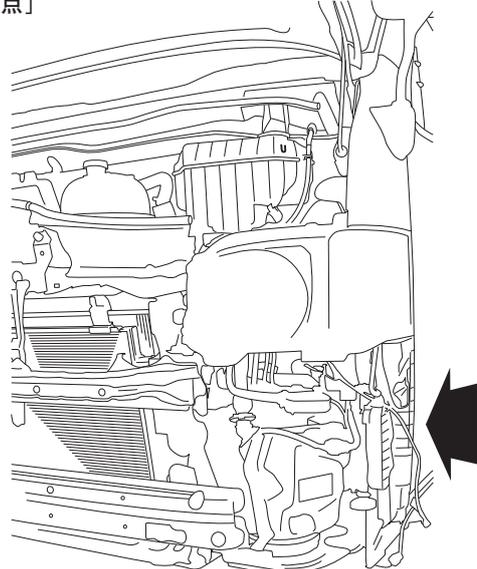
9. 図 6 の車両アースングポイントのボルトを取り外し、接続ハーネス（車両側）⑨のアースを共締めし固定する。

締め付けトルク [8.5 N・m]

図 7 [矢視図]



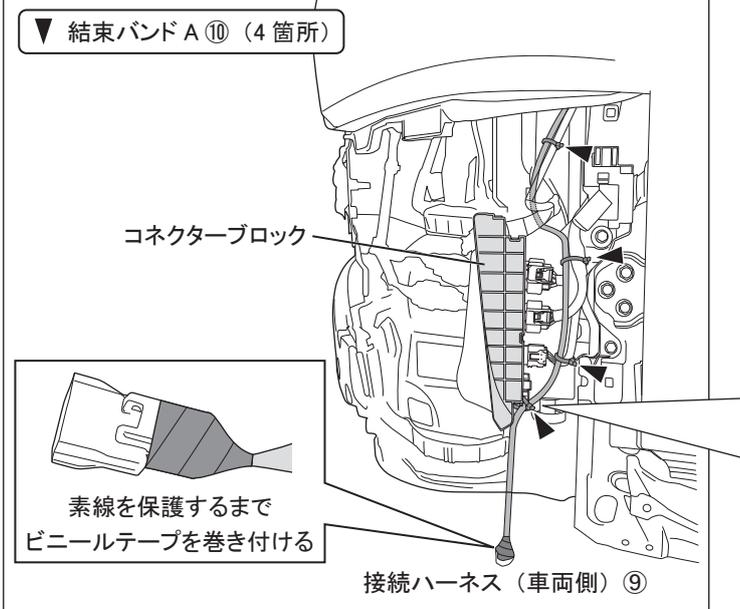
[視点]



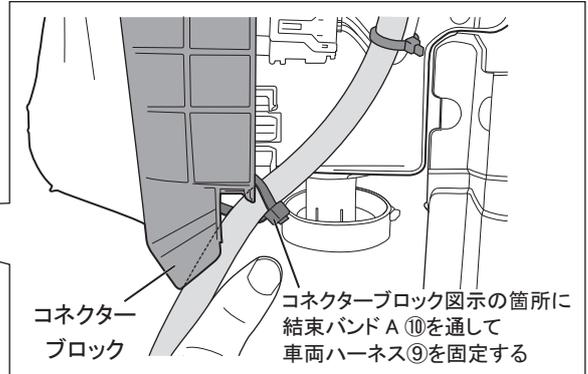
10. 図示部の車両ビスを外し、サイドカバーを取り外す。

⚠注意：取り外した部品は復元するため、大切に保管してください。

図 8



11. 図を参照し、接続ハーネス (車両側) ⑨を車両配線に沿わせ、矢印部を結束バンド A ⑩で束ねて固定し、結束バンド A ⑩の余りをニッパーなどで切り取る (4箇所)。
12. サイドカバーを戻す。

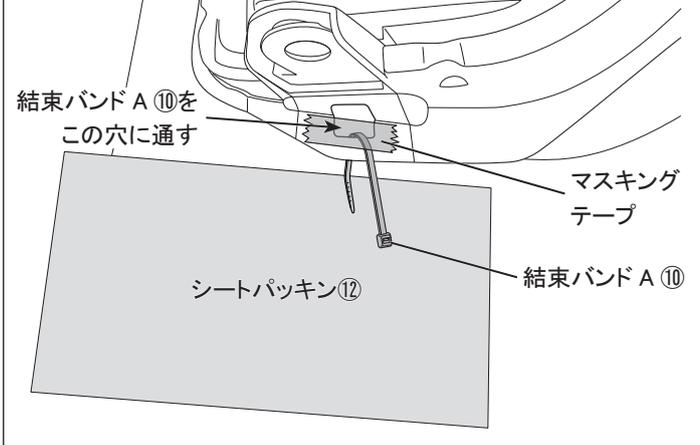


13. 左図を参照し、接続ハーネス (車両側) ⑨のコネクターに素線を保護するまでビニールテープを巻き付ける。

⚠注意：配線の取り扱いは十分に注意してください。

14. フロントバンパーをウラ側から見て、フォグカバー下部にある角穴に結束バンド A ⑩を通し、マスキングテープで固定する。
15. シートパッキン⑫を図の位置に貼る。

図 9



□LED ランプの点灯確認 ※「シグネチャーイルミブレード」が装着されている場合はここから作業を行う

1. バッテリーのマイナス端子を接続します。
2. 接続ハーネス (車両側) ⑨と接続ハーネス (スポイラー側) を仮接続し、イグニッション (IG) をオンにした際にフロントスポイラーの LED ランプが正常に点灯すること、またオフにした際に消灯することを確認します。
3. バッテリーのマイナス端子を外し、接続ハーネス (車両側) ⑨と接続ハーネス (スポイラー側) を取り外します。

図 10 [フロントバンパー ウラ側]

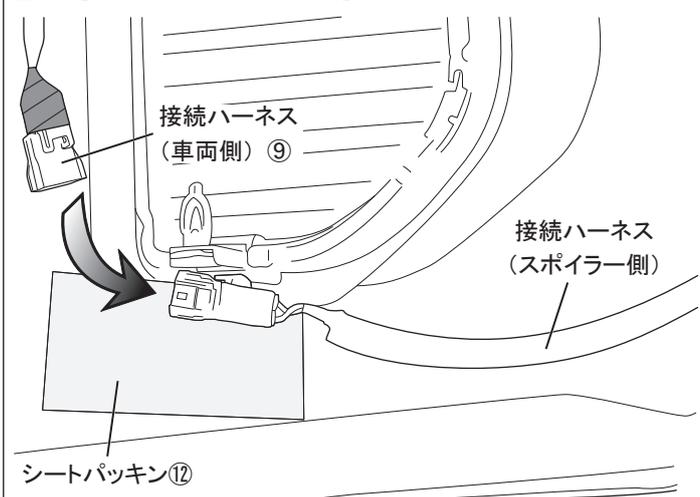


図 11 「シグネチャーイルミブレード」同時装着の場合

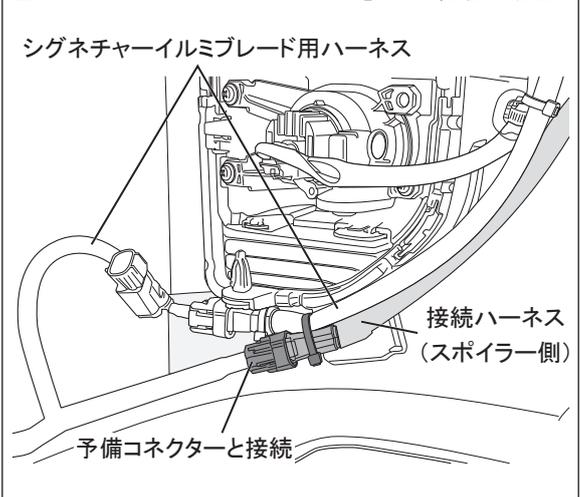


図 12 [矢視図]

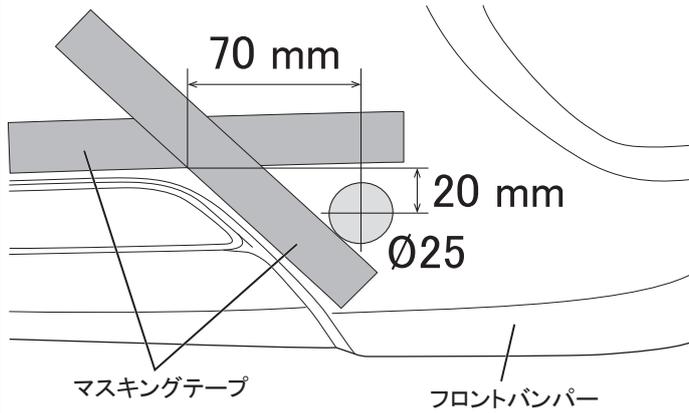


図 13

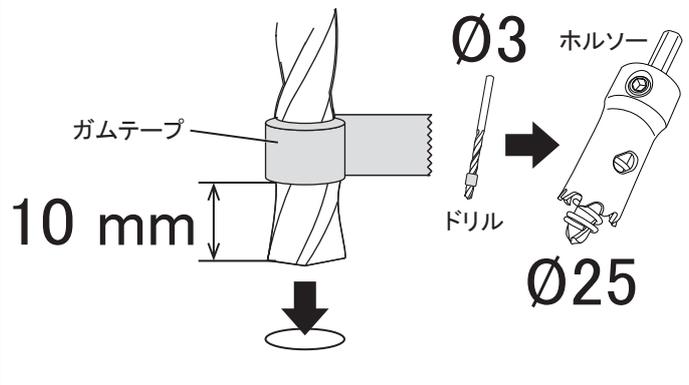
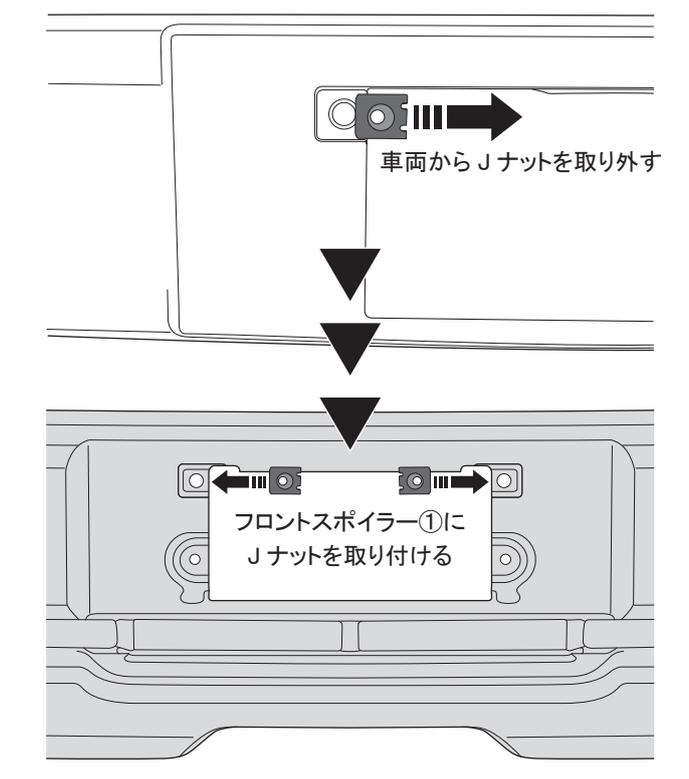
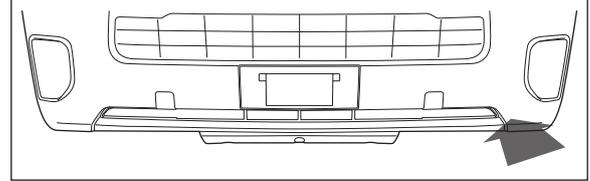


図 15

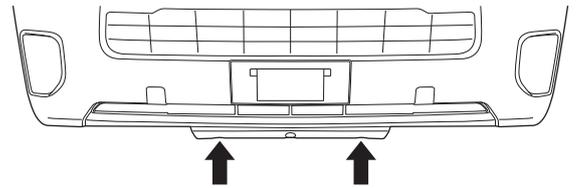


□フロントバンパーの穴あけ加工

[視点]



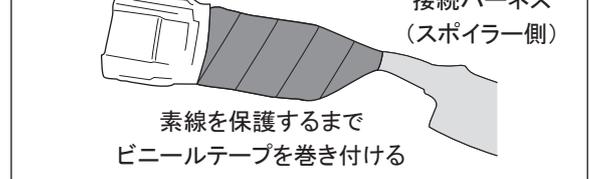
1. 図 12 [矢視図] を参照し、ダクト部のキャラクターラインに合わせてマス킹テープでマーキングをする。
2. マーキングの交点を基準とし図示の寸法をはかり、穴あけ位置をマーキングする。
3. 図 13 を参照し、 $\text{Ø}3$ のドリル先端にストッパーとして 10 mm の位置にガムテープを巻き付け、 $\text{Ø}3$ のドリルで下穴、 $\text{Ø}25$ のホルソーで本穴をあけバリを取り除く。
4. 車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、フロントグリルおよびフロントバンパーを戻す。



△注意：フロントバンパーを戻す際に、上図矢印部（両端）の車両クリップは取り付けないでください。あと作業でブラケットを取り付けます。

□フロントスポイラーの取り付け

図 14

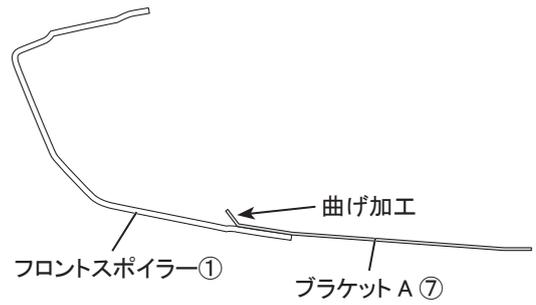
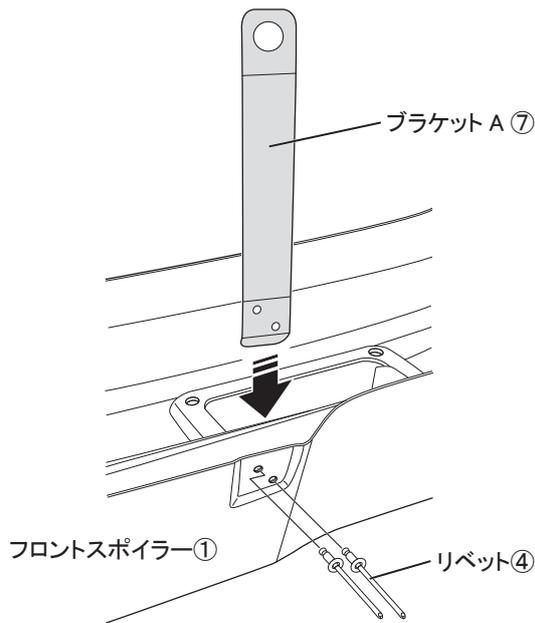


1. 上図 14 を参照し、接続ハーネス（スポイラー側）のコンネクターに素線を保護するまでビニールテープを巻き付ける。

△注意：配線の取り扱いは十分に注意してください。

2. 左図 15 を参照し、フロントバンパーから車両 J ナットを取り外し、フロントスポイラー①の図示部に取り付ける。

図 16 [フロントスポイラー ウラ側]



3. リベット④を使いフロントスポイラー①にブラケット A ⑦を取り付ける。

⚠注意：上図を参照し、ブラケット⑦はフロントスポイラー①の上側に取り付けてください（誤った取り付けを防ぐため曲げ加工がされています）

図 17 [視点]

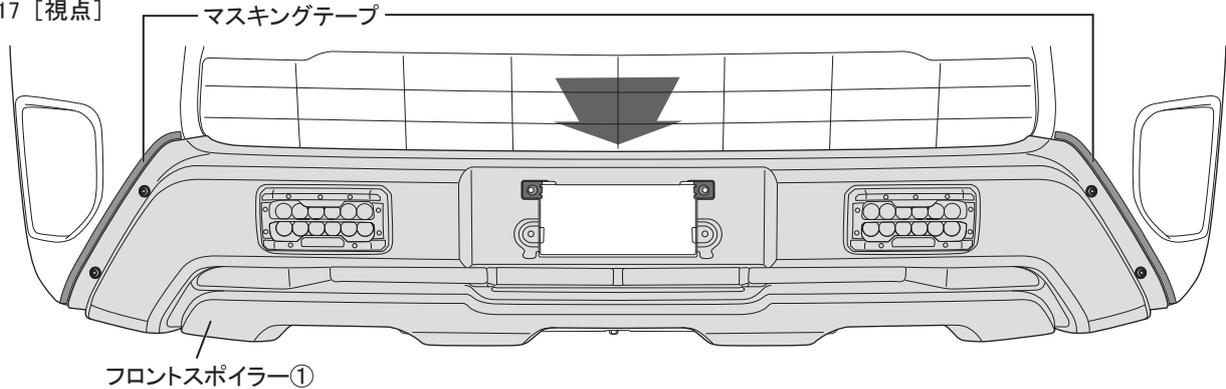
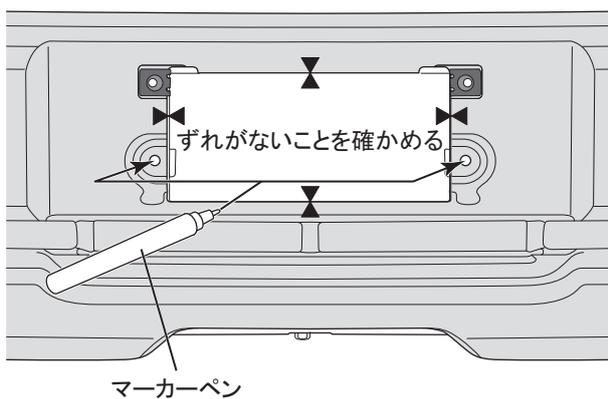


図 18



4. フロントスポイラー①をフロントバンパーにあてがう。
5. 左図 18 を参照し、正面から見てフロントスポイラー①とフロントバンパーがずれなく重なっていることを確かめる。
6. 左図 19 を参照し、フロントスポイラー①とフロントバンパーロアグリルとの隙が「1 mm で一定間隔になっている」ことを確かめる。
7. 図 18 の矢印が示す穴位置(穴の中心)をマーカーペンなどでフロントバンパーにマーキングする。
8. 図 17 を参照し、取り付け位置をマスキングテープでマーキングする（左右同様）。

図 19 [図 17 矢視図]

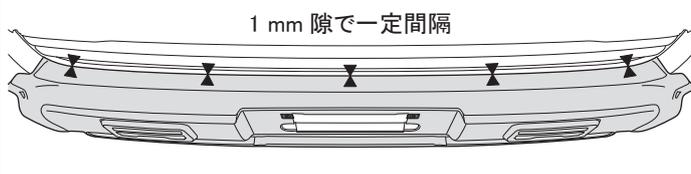
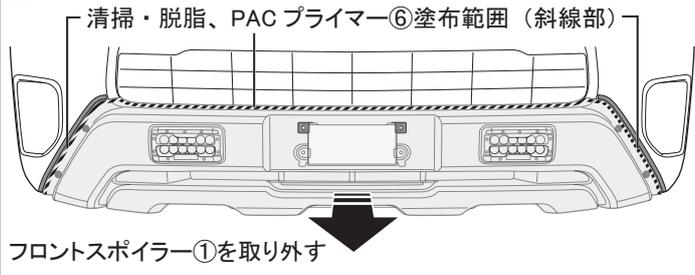


図 20



9. フロントスポイラー①を取り外し両面テープ接着面（斜線部）の汚れを拭き取り、IPA またはホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油分が残り両面テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス

- ・脱脂後は 10 分以上乾燥させてください。

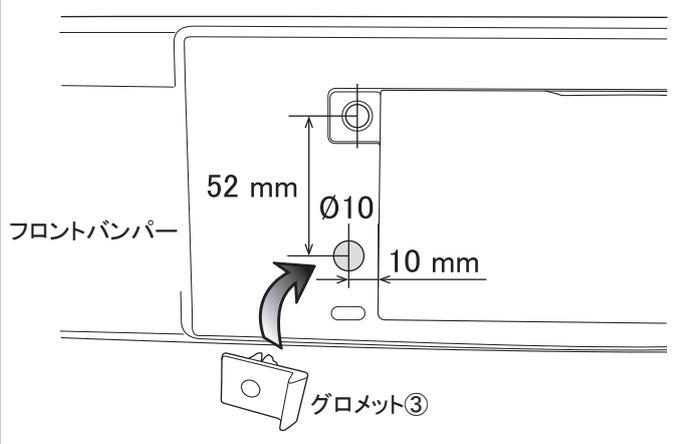
10. 同じ箇所に PAC プライマー⑥を塗布する。

⚠注意：PAC プライマー⑥は特に白色塗装面を黄変させますので、塗布範囲内の面はマスキングして、はみ出した場合は IPA またはホワイトガソリンで確実に拭き取ってください。
ポディコート処理がされている車両は塗布範囲内をマスキングし、両面テープ接着部を塗装用コンパウンドなどで確実に除去し脱脂を行ってください。

👉 アドバイス

- ・素地バンパーに取り付ける場合は、別途「3M PAC プライマー K-500」を準備してください。
- ・PAC プライマー⑥塗布後は、常温で 10 分以上乾燥させてください。

図 21



11. J ナットを取り外した穴の中心を基準とし図のように寸法をはかり、事前にマーカペンでマーキングしていた位置と合っていることを確かめる。

12. 図 22 を参照し、 $\phi 3$ と $\phi 10$ のドリル先端にストッパーとして 10 mm の位置にガムテープを巻き付け、 $\phi 3$ で下穴、 $\phi 10$ で本穴をあけ、バリを取り除く。

13. 加工した穴にグロメット③を取付ける。

⚠注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキングの位置からズレないように注意してください。

⚠注意：穴あけ作業時は必ず保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリ取りをする際は穴径が大きくなるように注意し、丸やすりで取り除いてください。

図 22

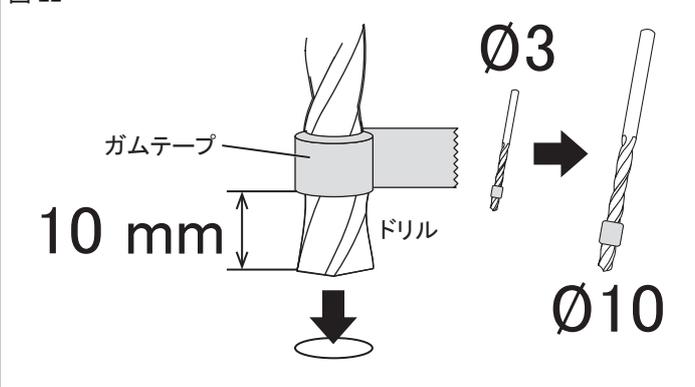


図 23
両面テープ離型フィルムを意匠面（表側）に折り返し
マスキングテープで貼り付ける

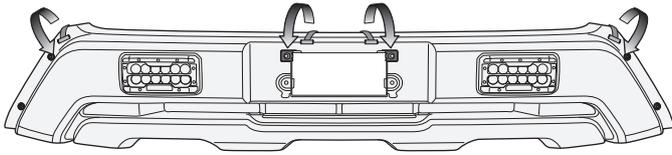


図 24
接続ハーネス（スポイラー側）

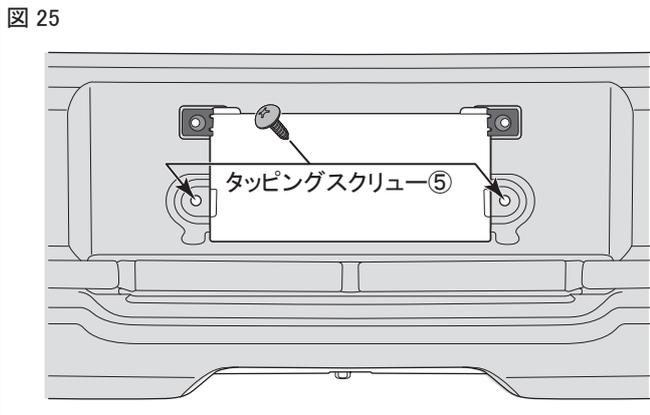
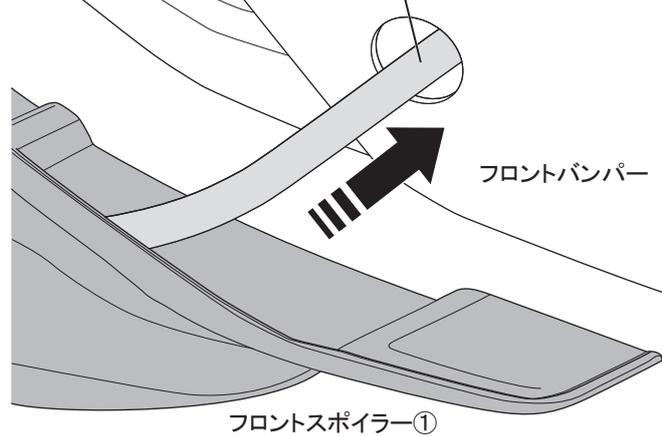
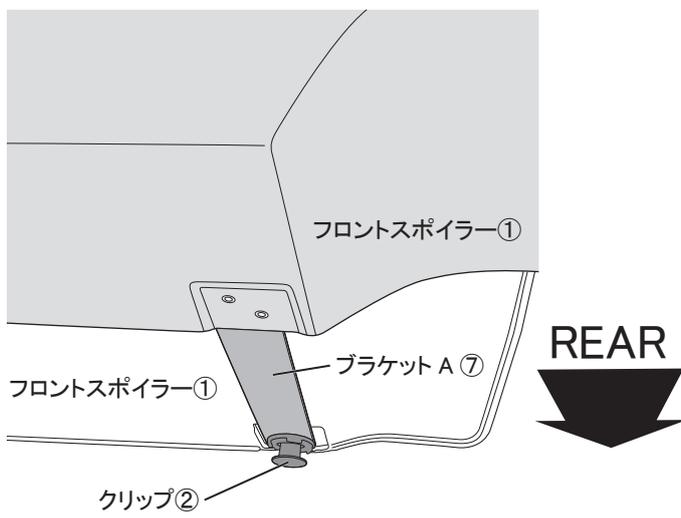


図 27 [図 26 矢視図]



14. 図 23 を参照し、フロントスポイラー①ウラ側の
両面テープ離型フィルムを矢印の方向に一部は
がし、意匠面（表側）に折り返してマスキングテー
プで貼り付ける。

15. フロントスポイラー①に組み付けてある接続ハー
ネス（スポイラー側）を、フロントバンパーにあ
けた穴に通す。

16. フロントバンパーにフロントスポイラー①をあて
がいがい、グロメット③取り付け箇所をタッピングス
クリュー⑤で仮締めする。

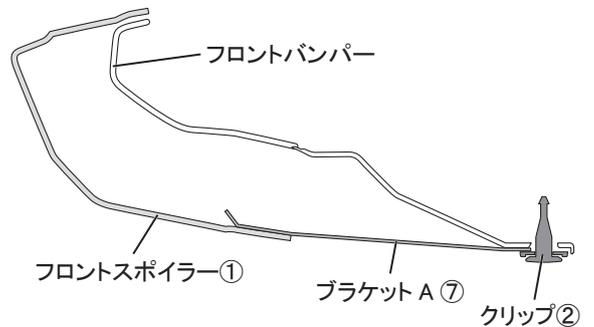
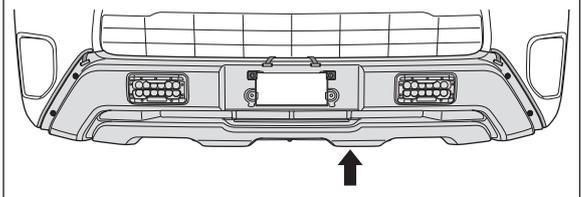


図 26 [視点]



17. フロントスポイラー①下部のブラケット A ⑦を、
クリップ②でフロントバンパーと共締めする。

図 28

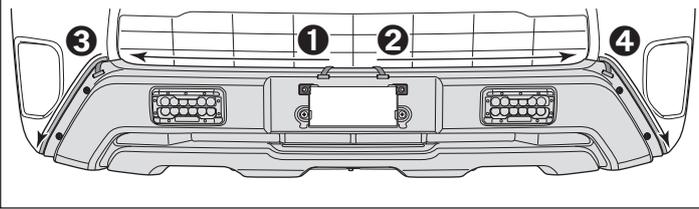


図 28 の拡大図

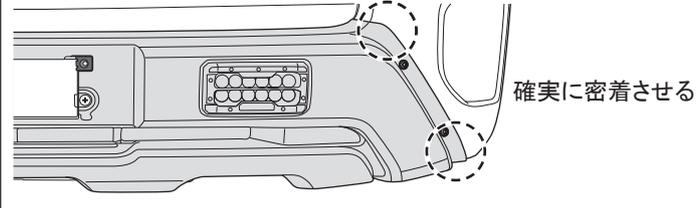


図 29

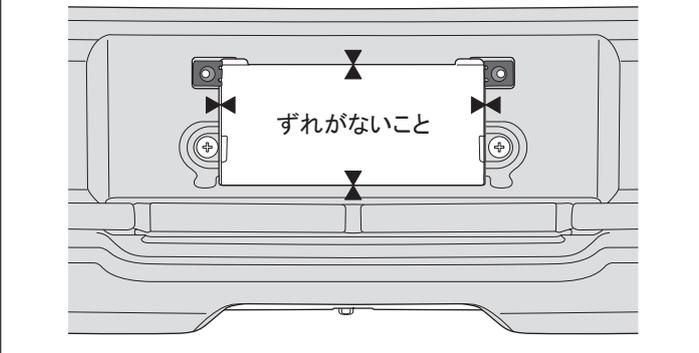
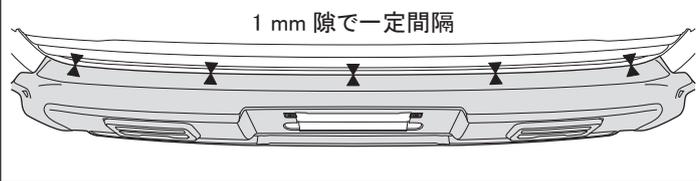


図 30



18. 上下左右のバランス、隙、穴位置などのずれがないことを確認し、図 28 の順に両面テープ離型フィルムを抜きながら圧着する。

⚠注意：図 28 の拡大図を参照し、破線部は隙がないように位置を合わせて確実に密着させてください。

⚠注意：外気温が 20℃以下の場合、両面テープの接着力が低下するため、テープ面をドライヤーで約 40℃くらい温めてから取り付けてください。

⚠注意：離型フィルムが途中で切れないように注意してください。

⚠注意：両面テープの離型フィルムを図示の順に剥がさなかった場合、隙が生じるおそれがあります。

⚠注意：両面テープの圧着は 49 N (5 kgf) 以上で圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き剥がれの原因になります。

⚠注意：両面テープ接着後 24 時間は、洗車をしないでください。

図 32 [フロントバンパー ウラ側]

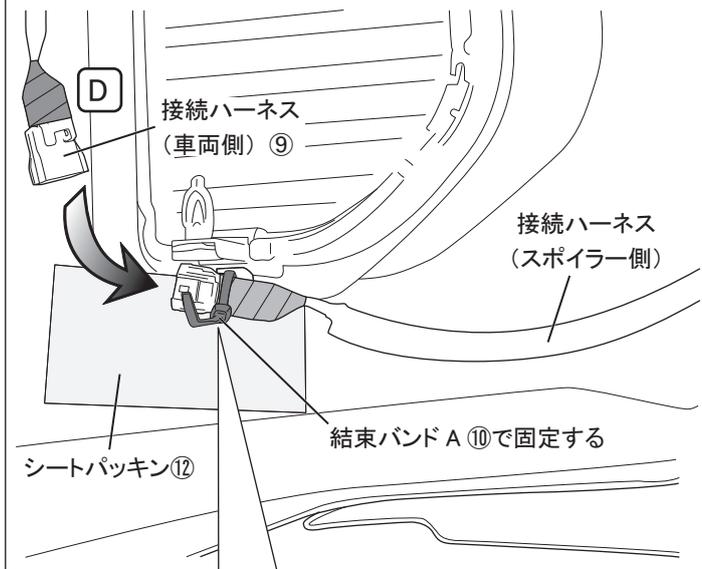
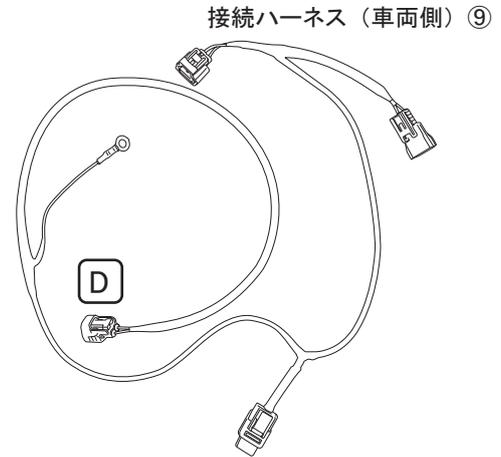
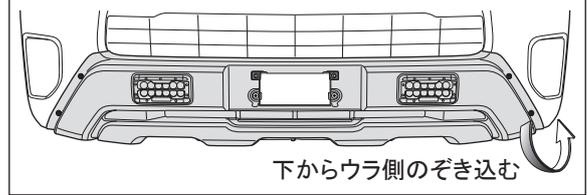


図 31 [視点]

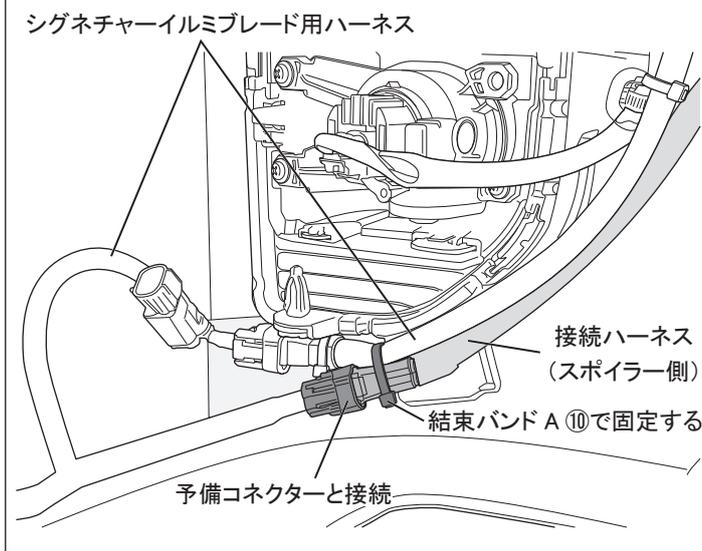


19. 図を参照し、フロントスポイラー①を取り付けた状態でフロントバンパーの下からウラ側をのぞき込み、図示の角穴に予め差し込んでおいた結束バンド A ⑩で接続ハーネス (スポイラー側) コネクタを固定し、結束バンド A ⑩の余りをニッパーなどで切り取る。
20. 接続ハーネス (スポイラー側) コネクタと接続ハーネス (車両側) ⑨のコネクタ D を接続する。

👉 アドバイス

「シグネチャーイルミブレード」同時装着の場合は【図 33】を参照し、シグネチャーイルミブレード用ハーネスの予備コネクタに、接続ハーネス (スポイラー側) のコネクタを接続してください。その後、結束バンド A ⑩を図のようにシグネチャーイルミブレード用のハーネスと共に固定してください。

図 33 「シグネチャーイルミブレード」同時装着の場合

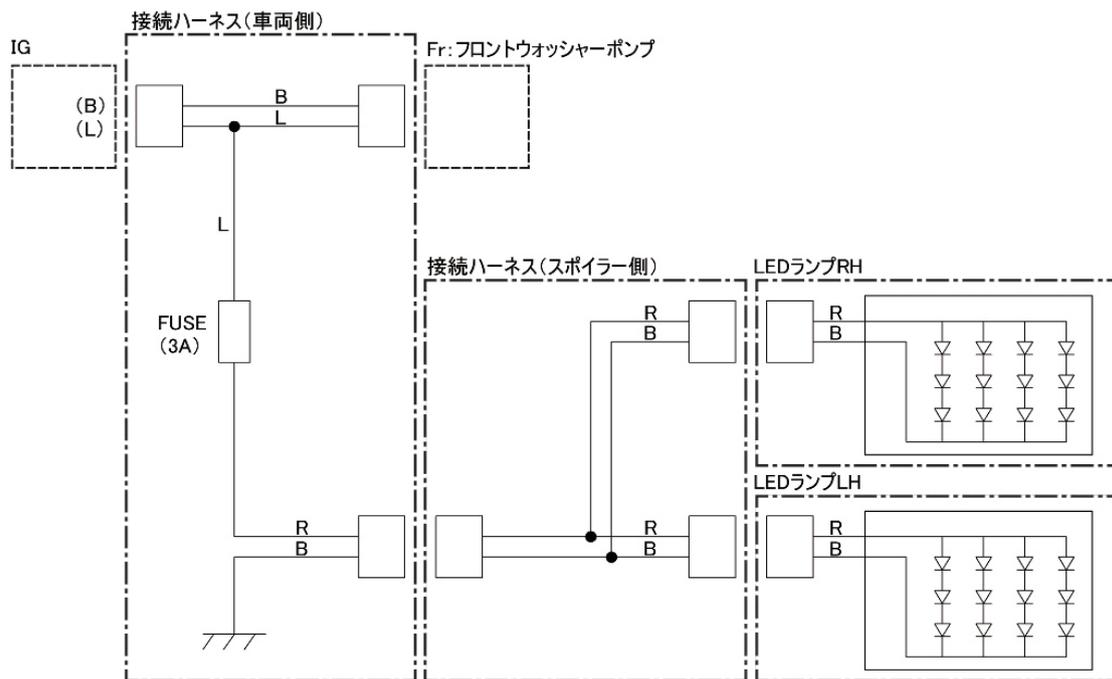


21. すべてのマスキングテープをはがし、ナンバープレートを車両ボルトで取り付ける。
22. 両面テープ貼り付け後、3 時間以上放置してから仮締め部を本締めする。

□回路図

図 31

※接続ハーネス（車両側）のヒューズ交換をする際、使用ヒューズは 3A を厳守すること



■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーおよびフロントバンパーが車両へ確実に取り付けられていることを確認してください。
2. 車両および製品まわりにキズが付いていないことを確認してください。
3. 製品全周に浮きやはがれなどが無いことを確認してください。
4. ウィンドウウォッシャーの作動点検を行ってください。
5. イグニッション ON の状態で LED ランプが正常に点灯することを確認してください。
6. バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化は、GTS 等のツールが必要な場合があります。
7. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
8. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
 TRD商品問い合わせ窓口
 TEL : 050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

ハイエース用
GRフロントスポイラー [LED付き]
MS341-26004

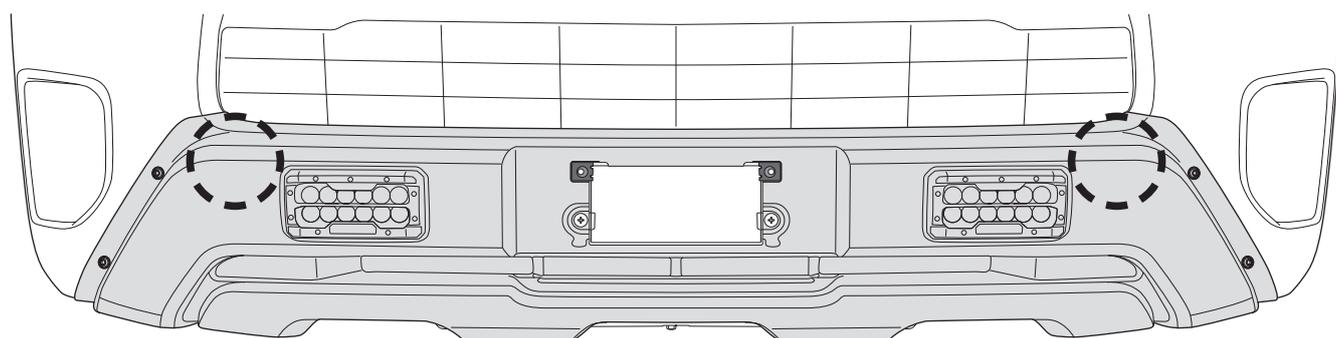
ご購入のお客様へお知らせ

このたびはハイエース用 GR フロントスポイラーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品を装着した状態では「牽引フック」を使用することができません。

前方の牽引フックを使用する場合は、本製品を取り外してください。

○ 車両前方の牽引フック位置



※本書は車検証などと一緒に車両に搭載し保管してください。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

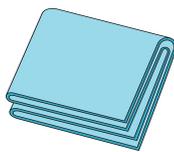


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



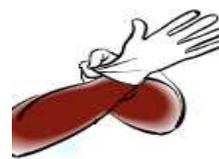
水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



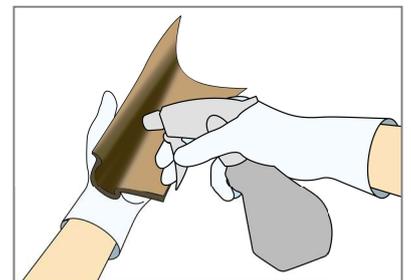
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

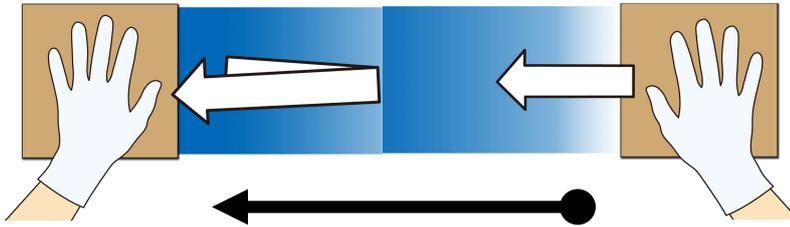
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

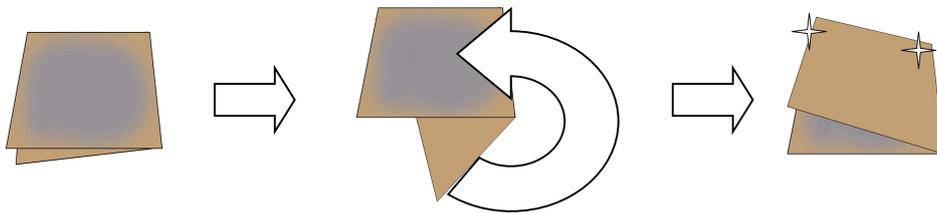
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。